

平成 26 年 5 月 12 日

国土交通大臣 殿

地域型住宅ブランド化事業 適用申請書

本申請書の内容により、地域型住宅ブランド化事業の適用を申請します。
この申請書及び添付資料に記載の事項は、事実と相違ありません。

地域型住宅の名称: 宮崎ファースの家

グループの名称: 宮崎ファースの家

直近採択グループ番号: 03 - 0287 - 0465

(平成26年度新規グループは、採択グループ番号は必要ありません)

(グループ代表者)

代表者名: 清水 賢一郎 代表者印

代表者所属先: 清栄建設

代表者構成員番号: VI-1

代表者住所: 宮崎県都城市横市町265-5

電話番号: 0986-25-3924

(グループ事務局)

事務局事業者名: 清栄建設

事務局構成員番号: VI-1

事務局担当者名: 清水 賢一郎 印

事務局郵便番号: 885-0091

事務局住所: 宮崎県都城市横市町265-5

事務局電話番号: 0986-25-3924

事務局FAX: 0986-25-3955

事務局担当者E-mail: seieiprj@seiei-project.com

※ 過去に採択されたグループは、最終的に提出された適用申請書から変更点がある場合、その変更点分かるように(文字の色を変更する、下線を引く等)記載して下さい。

■他の様式にリンクしますので、全て正確に記載してください。

1. 地域型住宅の名称(必須)	宮崎ファースの家	
2. グループの名称(必須)	宮崎ファースの家を造る会	
3. 地域型住宅供給対象地域(必須)	宮崎県	
4. 結成年月(必須)	平成24年6月	
5. グループ代表者名(必須)	清水 賢一郎	
6. グループ代表者の所属先(必須)	清栄建設	注1
7. グループ代表者の構成員番号(必須)	VI-1	
8. グループ代表者所在地(必須)	宮崎県都城市横市町265-5	
9. グループ代表者電話番号(必須)	0986-25-3924	
10. グループ事務局事業者名(必須)	清栄建設	
11. グループ事務局の構成員番号(必須)	VI-1	
12. グループ事務局担当者名(必須)	清水 賢一郎	
13. グループ事務局郵便番号(必須)	885-0091	注2
14. グループ事務局所在地(必須)	宮崎県都城市横市町265-5	
15. グループ事務局電話番号(必須)	0986-25-3924	注3
16. グループ事務局FAX番号(必須)	0986-25-3955	注3
17. グループ事務局担当者E-mail(必須)	seieiprj@seiei-project.com	

(構成員数) ※様式2-2の各シートからリンクする為、入力はありません。		
I. 原木供給	4	
II. 製材・集成材製造・合板製造	3	
III. 建材流通(木材を扱わない事業者を除く)	4	
IV. プレカット	3	
V. 設計	3	
VI. 施工	5	
VII. 木材を扱わない流通	2	
VIII. I～VII以外の業種	0	

	対象となる地域材の名称	地域材の産地	認証制度等の名称
A. 使用する地域材に関する事項 (必須) ※地域材の種類が5種類を超える場合は<様式3-3その他>に記入してください。	宮崎県産材	宮崎県	宮崎県木材協同組合連合会合法認証
	合法木材	国内・国外	合法木材認証制度
-5	地域型住宅の供給予定戸数 25 戸	(左記の根拠、様式2-2に記載した実績との関係等)	
	うち経験工務店による長期優良住宅 15 戸 うち未経験工務店による長期優良住宅 10 戸	本補助金の活用により、長期優良住宅の供給予定戸数を5社×5棟で設定いたしました。	
C. 当提案が採択された場合の各住宅事業者における補助対象戸数の配分ルール (必須)	地域型住宅による地域材使用予定量 500 m ³	(左記の根拠、様式2-2に記載した実績との関係等)	
	うち長期優良住宅分 500 m ³	地域型住宅には100%に近い地域材を使用する事で設定致しました。	
D. 平成25年度の執行状況 (H25年度採択グループのみ必須)	採択戸数 注4	交付申請戸数	完了実績見込み
	12 戸	6 戸	竣工済 0 戸 竣工予定 6 戸

注1) 代表者の所属先及び事務局事業者名は略さず正式名で記載してください。例:株式会社〇(株)×

注2) 郵便番号は、ハイフンありで半角入力 例:123-4567

注3) 電話番号・FAXは、ハイフンなしで半角入力 例:0123456789

注4) 採択戸数は最終的な配分戸数を記入して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 宮崎ファースの家	(地域型住宅供給対象地域) 宮崎県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 宮崎ファースの家を造る会	(結成年月) 平成24年6月
3. 過去の採択グループ番号 (必須)	0 3 - 0 2 8 7 - 0 4 6 5 注1	
4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み		
ア. 特徴あるブランド化の目標設定 (必須)		
【平成26年度における対応方針】 (過去に採択されたグループは、直近の取組みの課題とその対策も併せて記入ください)		
<p>地域型住宅宮崎県産杉活用住宅『ファースの家を造る会』の取り組みとしては、昨年は宮崎の温暖な気候風土の中、一次エネルギー消費の多い住宅背景より長期優良住宅と住宅設備を一体にして考えた一次エネルギー消費量を削減する環境負荷低減住宅を供給する事とともに、作り手と住まい手が一心になった住まい造りを目標とし、ファースの家を造る会グループ内では、月に一度関係業者含め『ファースの家』の仕様を学ぶ勉強会を行い、住まい手側には木材市場等から同伴頂き、より良い県産材を提供することに務めた。平成25年度は、施工グループを中心として新規構成員の働きかけと、住まい手にじっくりと閲覧して頂けるインターネットなどを中心にその他広報活動を通し、供給戸数の向上に努める。</p>		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
上記を踏まえた地域型住宅の特徴等 (性能や地域性等)における共通ルール (任意)	断熱・気密工事は共通価格表に基づき積算を行う。 断熱・気密工事を共通マニュアル化し、かつ断熱気密工事は専門業者が行い品質確保を行う。	断熱・気密工事の実行予算書を添付。 専門業者が発行する工事完了報告書を添付。
イ. 効率的な住宅生産体制の整備 (aは必須)		
【平成26年度における対応方針】 (過去に採択されたグループは、直近の取組みの課題とその対策も併せて記入ください)		
<p>a. 宮崎ファースの家は省エネ住宅として一年を通してエアコンを可動させ、約20万円の光熱費を使うオール電化住宅です、25年度までに竣工住宅の一部に太陽光発電を設置し約10万円に光熱費を抑えられたので、できるだけ太陽光発電を推進していきたい。</p> <p>b.</p>		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
上記の住宅生産の合理化・効率化に資する取組、安定供給の長期維持体制、グループの信頼向上に資する取組における共通ルール (任意)		

注1) 過去に採択されたグループは、最終的に付与されたグループ番号を記載してください。

※) 過去に採択されたグループは、それぞれの項目について直近の取組みを踏まえた課題と、平成26年度における対応方針を明確に記載してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域 (必須)	(地域型住宅の名称) 宮崎ファースの家	(地域型住宅供給対象地域) 宮崎県
2. グループの名称・結成年月 (必須)	(グループの名称) 宮崎ファースの家を造る会	(結成年月) 平成24年6月
3. 過去の採択グループ番号 (必須)	0 3 - 0 2 8 7 - 0 4 6 5	注1

4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み

ウ. 長期にわたる住宅メンテナンス体制の整備 (aは必須)

【平成26年度における対応方針】 (過去に採択されたグループは、直近の取組みの課題とその対策も併せて記入ください)

a. 平成24年度に『宮崎ファースの家を造る会』の結成に伴い、業者関係者と共に住宅メンテナンスの向上に務めるべく月に一度施主様の声について話し合う『アフター会』を発足した。ファースの家は、専用の空調設備を要する為、代表者においては、引き渡し後から半年単位での定期点検を行い、メンテナンスの要請があれば即日対応を行った。アフター会でファースの家の仕様についても講習を行った為、施工グループ含め全体がファースの家の仕様を理解している。今年も昨年同様、講習会を継続していき、又、メンテナンスを要したときに施主様が安心できるように、住宅引き渡し後に、ファースの家や住宅設備についてのマニュアル本などアフター会で作成し長期に渡る住宅メンテナンスの信頼を確保していきたい。

b.

地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
グループの長期にわたる住宅維持管理体制における共通ルール (任意)		
住宅履歴情報の保存方法 (任意)		

エ. グループの技術力の向上 (aは必須)

【平成26年度における対応方針】 (過去に採択されたグループは、直近の取組みの課題とその対策も併せて記入ください)

a. 予定戸数に達成が困難だったため、平成26年度は設計グループの協力を得て施工グループを中心に長期優良住宅の設計、施工、仕様について設計グループ活用の手引きなど見本にして、定期的に研修会を実施すると共に、平成25年度も地域型住宅の生産に関する人材育成の中で、県内の職業技術専門学校より、現場実習・見学をとり入れたが、その経験を基盤に、各施工グループ内での代表者だけに限らず関係者を互いの住宅現場に招き、より良い県産材の利用の仕方と(ファースの家)専用の施工の仕方等、見学を含め研修会を行い、お互いに住宅供給から施工からメンテナンスに至るまで全体の技術向上に努める。

b.

c.

地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
グループの技術力の向上における共通ルール (任意)		

注1) 過去に採択されたグループは、最終的に付与されたグループ番号を記載してください。

※) 過去に採択されたグループは、それぞれの項目について直近の取組みを踏まえた課題と、平成26年度における対応方針を明確に記載してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

1. 地域型住宅の名称・対象地域(必須)	(地域型住宅の名称) 宮崎ファースの家	(地域型住宅供給対象地域) 宮崎県
2. グループの名称・結成年月(必須)	(グループの名称) 宮崎ファースの家を造る会	(結成年月) 平成24年6月
3. 過去の採択グループ番号(必須)	0 3 - 0 2 8 7 - 0 4 6 5	注1
4. ブランド化事業のねらいに対する取り組み		
オ. 地域の産業・住文化・景観等への寄与 (aは必須)		
【平成26年度における対応方針】 (過去に採択されたグループは、直近の取組みの課題とその対策も併せて記入ください)		
<p>a. 平成25年度は、各施工グループ内の完成見学会を行う際にその住宅に使われた化粧柱から構造材の県産木材についての資料を作成した。</p> <p>本年度は、構造材等の、消費者側が普段目にする事の出来ない構造見学会等で、県産材について多くを構造材として出荷している宮崎県産杉だが鉄肥杉など知名度も高い地域型住宅のブランド化を牽引する材料を、これを通して伝えていきたい。</p>		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
地域材利用に関する共通ルール(必須)	構造材(柱 梁 桁 土台)は産地証明、合法証明のなされた地域材を80%使用する。	住宅の木拾い表を添付すると共に第三者機関が発行する証明書を添付。
b.		
c.		
d.		
地域型住宅の生産に関する共通ルール	具体的取組内容	個別の住宅が、左記の共通ルールに基づき生産されていることを確認する具体的手段
地域材情報の共有、地場産業等の積極的活用、地域の住文化・景観・デザインへの寄与、和の住まいの推進に関する共通ルール (任意)		
その他 (任意)		
【平成26年度における対応方針】 (過去に採択されたグループは、直近の取組みの課題とその対策も併せて記入ください)		

注1) 過去に採択されたグループは、最終的に付与されたグループ番号を記載してください。

※) 過去に採択されたグループは、それぞれの項目について直近の取組みを踏まえた課題と、平成26年度における対応方針を明確に記載してください。

※) 行の高さについては記載する文章の長さなどにより適宜、調整して下さい。

※) グループの取組に関する補足説明は様式3-3の「その他」の欄に記載して下さい。